

AIR施設が韓国人アーティストを初招聘、文化庁助成に採択決定


松戸駅前の「PARADISE AIR」は、2013年度の参加アーティストとしてイ・デイル(韓国)の招聘を決定しました。9月15日(日)から11月3日(日)まで、50日間滞在し市民と交流しながら作品制作を行います。また本事業が、文化庁の助成事業として全国4件の1つに採択されました。

松戸まちづくり会議(代表幹事:稲葉八朗/松戸本町自治会会長、以下「松会」)による「暮らしの芸術都市」事業の一環として2013年に開設されたPARADISE AIR(読み:ぱらだいすえあー、以下「P_AIR」)は、松戸に入れ替わり立ち代わり国内外からアーティストやミュージシャンが訪れ滞在し、作品制作や発表を行うアーティスト・イン・レジデンス¹です。このP_AIRは松戸駅前がかつて松戸宿と呼ばれる宿場町であった歴史を踏まえ、「一宿一芸」をコンセプトに運営されています。具体的には国内外のアーティストに対して、2泊3日までの短期滞在プログラム「ショートステイ・プログラム」と、最大60日までの長期滞在プログラム「ロングステイ・プログラム」を用意しています。この度、初めてのロングステイ・プログラムとして長期の滞在アーティストを招くこととなりました。

招聘するイ・デイルは、韓国やヨーロッパを中心に、サウンドアートや音楽ライブを得意として活躍するアーティストです。日本にも縁があり、取手アートプロジェクト(茨城県取手市)やスーパーデラックス(東京都港区)などでも発表の経験があり、その名を知られています。今回の滞在では、松戸の街をリサーチしてその印象を音楽作品にし、実際に営業している銭湯などを舞台とする、水中で視聴するコンサート形式の作品を企画中です。また、メインの作品制作以外にも、地元アーティストや市民と音楽を通じてコミュニケーションすることを望んでおり、特別に組まれたバンドなどでの演奏にも意欲的に取り組みたいとのコメントをいただいています。

なお本年度の「PARADISE AIR」の企画プログラムについて、9月2日付で「平成25年度 文化庁 文化芸術の海外発信拠点形成事業」のうち「アーティスト・イン・レジデンス事業[復興支援枠]」にて、全国で4件しかない採択枠に選んでいただくことができました²。今回、イ・デイルが松戸に滞在し制作をすることにより、街に住む人々にとっても関わることのできる様々な機会が生み出されることが期待されます。またアーティストと市民の双方にとって、お互い全く違う背景にある文化に触れ、自らが住む地域を見つめ直す機会になります。言語を越えた音楽や芸術を通じた世界共通のコミュニケーションは、私たちの暮らしに豊かさを与えてくれるでしょう。ぜひ一連の取り組みにご注目ください。

■本プログラム概要

滞在期間	2013年9月15日(日)～11月3日(日)(50日間)
滞在场所	PARADISE AIR (千葉県松戸市本町15-4 ※JR/新京成 松戸駅西口 徒歩3分)
主催	松戸まちづくり会議 (事務局:松戸政策推進課/株式会社まちづクリエイティブ)
助成	 平成25年度 文化庁 文化芸術の海外発信拠点形成事業
ディレクター	中島佑太、森純平
コーディネーター	庄子渉
公式サイト	暮らしの芸術都市WEBサイト http://matsudo-artline.com/

¹ 芸術家に一定期間、滞在场所や制作場所を与え活動を支援する滞在制作プログラム

² http://www.bunka.go.jp/ima/press_release/pdf/bunkageijyutsu_kaigai_130902.pdf

■関連事業／イベントスケジュール

- 9月15日(日) イ・デイル 松戸滞在開始
9月27日(金) 松戸まちづくり会議主催イベント「TOWN DRINKS」内でプレゼンテーション実施
会場 Lift Cafe (千葉県松戸市本町 20-10)
時間 19時～21時
参加費 1,000円 (1ドリンク付)
10月中旬 作品発表予定(現在調整中) @松戸駅前エリア
11月2日(土) トークイベント(報告会) 実施予定
11月4日(月) イ・デイル 帰国

■アーティスト・プロフィール

イ・デイル | Lee Daeil



サウンドアーティスト。1966年生まれ、ソウル市在住。1992年ソウル大学美術学部彫刻科卒業、2001年デュッセルドルフ美術アカデミー修了(ヤニス・クネリス教室)。韓国やヨーロッパを中心に、公共スペースでサウンドインスタレーションやライブパフォーマンスに取り組む。その他、彫刻作品の制作やアートプロジェクトの企画など、活動は多岐に渡る。主な参加プロジェクトに、アニャン・パブリック・アート・プロジェクト(2010年、韓国安養市)、取手アートプロジェクト 2008(2008年、茨城県取手市)。また、キョンギクリエイションセンターレジデンス・プログラム(韓国)など、各国の様々なアーティスト・イン・レジデンス・プログラムにも参加している。

<http://www.imdaily.net>

<松戸まちづくり会議 / 暮らしの芸術都市 について>

松戸まちづくり会議(代表幹事:稲葉八朗(本町自治会会長)、副代表幹事:鈴木征男(平潟自治会会長))は2012年5月に結成された団体です。松戸駅前に位置する19の町会および町会連合会から町会長が参画し、事務局を松戸市および株式会社まちづくりエイティブ(代表取締役:寺井元一)が務め、対象地域におけるまちづくり活動を推進しています。本年は、2010年より開始された松戸市事業「松戸アートラインプロジェクト」の2013年度の運営母体としても活動し、地域でアートと日常生活の接点を模索する「暮らしの芸術都市」事業を行っています。

暮らしの芸術都市 WEB <http://matsudo-artline.com/>

松戸まちづくり会議 WEB <http://www.facebook.com/matsudomachizukuri>

=====このプレスリリースに関するお問い合わせ先=====

松戸まちづくり会議事務局(株まちづくりエイティブ内) 担当:赤星(あかほし)/庄子(しょうじ)

TEL:047-710-5861 FAX:047-413-7542 E-mail: info@matsudo-artline.com

=====